

意見交換会実施報告書

平成28年 7月29日

登米市議会議長 沼倉 利光 様

第2班 代表者 庄子 喜一

1. 意見交換会の概要

開催日時		平成28年 7月14日（木） 午後 7時00分 ～ 8時30分
開催場所		登米町：登米総合支所（会議室）
出席議員		代表者：庄子 喜一 司会者：伊藤 栄 報告者：浅田 修 記録者：熊谷 和弘、工藤 淳子
参加市民数		16人
実施内容報告	議会報告	・議会活動報告について 登米市議会が議会改革度ランキングで2年連続『宮城県第2位』に ・財政状況について 28年度一般会計予算及び当初予算の主なものについて ・常任委員会からの報告
	意見交換	『登米市の魅力 再発見 ～シティプロモーションについて考える～』 ・参加者数は16人だったが、多種多様なご意見や質問をいただき、活発な意見交換ができたと思う。また、その場で回答できなかった問題もあり、しっかり調査し、回答していかなければと思う。 シティプロモーションについては、登米市の良さが出され、「まずは宣伝することが必要」という意見、意見交換会については「もっと多くの人に参加するよう工夫すべき」という事が出された。 これからの大きな課題だと感じる。

2. 市民の質問・意見等

会場で回答したもの	質 問	(議会運営、議員) ・議会改革が宮城県第2位の理由は。 ⇒いかに情報公開されているか、住民がどのように参加しているかがポイント。通年議会、タブレット導入、意見交換会などで出た意見をまとめて市に政策として上げていくなど、総合的に評価されたもの。 (病院) ・米谷病院の改築と、登米市民病院の評判の悪さはどうなっているか。 ⇒合併後の病院改革プランの変更により、米谷病院も存続することになった。機能分担と、不足している療養病床を増やすために改築される。登米市民病院の患者対応については、その都度改善されているものと考えている。 (補助金) ・防犯協会の補助金が減らされている。補助金の適正化委員会は機能しているのか。 ⇒市の補助金適正化審査委員会で決定されている。 (観光、移住、定住) ・移住定住者を増やすため、具体的にどのような対策があるのか。 ⇒若い世帯を対象に、市内へ移住・定住するため、住宅を新築または購入する場合は上限60万円、空き家を改修する場合は上限50万円、アパートなど借りる場合は月額1万5千円の家賃補助などが出る。 (その他) ・女川原発再稼働ということが言われているが、どう考えているのか。 ⇒全会一致で再稼働反対の意見書を提出している。30キロ圏内での避難計画が策定された。
	意 見	(その他) ・最近熊が出てくることが頻繁に起きているが、どういう対処をしているのか。事故が起きてからでは遅いので、素早い対応・処置をしてほしい。 ⇒わなをしかけたり、見回りなどを行っている。
	要 望	
	提 言	
	()	
	質 問	
	意 見	

会場で回答していないもの	要 望	(意見交換会) ・なぜ意見交換会の参加者が少ないのか。もっと多くの人に参加してもらうように工夫してもらいたい。 (公共施設、跡地利用) ・蛭沢地区に工業団地が建設される計画だが、それに合わせて工場見学に来た子どもたちが遊んだり、近くの登米高校の陸上部の生徒が練習できるよう、大きな公園を作してほしい。 (観光、移住、定住) ・鈴木邸（登米町前小路の交差点）の武家屋敷の門の「解説板」は、門の事しか書いていない。どういう人たちが住んでいたのかなど、作った時に、もっと考えてもらいたかった。 ・新しく予定されている懐古館の敷地内にある藁ぶき屋根の建物（茶屋）の玄関は、武家屋敷にふさわしいものに直してほしい。 (その他) ・給食の材料は、登米市の業者は18%しか納めていない。他市からの業者に賦課をかけられないか（手数料として）。 ・町内会（羽沢地区）で碎石の事が問題となっている。東北石材会社が、26年2月26日から30年2月23日までの契約をしている。それには、市は「何ら意義はありません」という意見をつけている。町内会では、平成5年から粉じん、道路の汚れ、ダンプの往来の問題などがあり、市の考えに不信感を持っている。議会として調べてほしい。 (市民生活、健康推進) ・地域の一人暮らしのお年寄りが、冬の雪かきに大変苦勞している。もう少しそういう所に力を入れてほしい。
	提 言	(シティプロモーション) ・登米市の魅力は、それぞれの町のいい所がたくさんある。それを市民に知らせ、発信していく事が必要。栗原ではテレビ・ラジオで宣伝している。登米市でもできないか。 ・30代、40代の若い世帯に優遇するのもいいが、定年して帰って来たり、年をとってから登米市に戻って来て住むという計画があってもいいのではないか。
	()	
	その他 特記事項	